

背景説明 1

即日発表
2021FIN0023-000744
2021年4月20日

財務省

経済スナップショット: BC州の力強い景気回復への投資

世界の他の国々同様、COVID-19パンデミックにより、ブリティッシュコロンビア州の経済も前例のない試練の年に直面していますが、すでに景気回復の力強い兆候を見せています。

2021年度予算には、2020-21年の予測赤字を、2020年秋の経済財政最新予測の136億ドルから81億ドルに補正しています。この減少は、住宅販売や小売販売が好調のため税収が予想より上回ったこと、歳出が緩やかに減少したことが背景にあります。政府は、BC州のより強力で回復力のある経済の未来のために、人々、企業、コミュニティを引き続き支援することに重点を置いています。

経済指標

- BC州の実質GDPは、2020年に5.3%減少し、2021年に4.4%、2022年に3.8%、2023年に2.2%拡大すると見込まれています。
- 小売販売と住宅販売の売上が共に、2020年半ばまでにパンデミック以前のレベルを上回りました。これは、低金利と、サービス業が一時停止する一方で、消費者が物品購入に傾倒したことなどによるものです。
- 小売売上は2020年4月に過去最大の月間減少率を記録したが、2021年1月には回復し、前年比15.3%増となりました。
- パンデミックにもかかわらず、住宅市場の活動は回復力があり、月間の住宅販売件数は2020年後半に記録的な水準に達し、2021年に入っても伸び続けています。
- 2020年のBC州の平均住宅販売価格は、2019年と比較して11.6%上昇しました。BC州は、パンデミックの発生後、前例のない数の雇用が失われました。2021年3月の時点で、BC州の総雇用はパンデミック前の水準を上回り、カナダ全州の中で最も高い雇用回復率を示しています。ただし、一部の業界では苦戦しており、すべての人々が同じ影響を受けているわけではありません。
- カナダの他の地域と同様に、BC州はパンデミックが始まった2020年3月と4月に高い失業率を記録しました。BC州の失業率は2020年に平均で8.9%、2021年3月に6.9%でした。
- BC州は、パンデミック発生時にはマニトバ州と並んでカナダで2番目に低い失業率を記録しており、現在は、カナダで3番目に低い失業率となっています。

運営結果

- 第3四半期報告書では、2020-21年に81億ドルの営業赤字を予測しています。
- 総歳入予想額は、610億ドル、総歳出予想額は691億ドルです。
- 2021年度予算での今後3年間の財務計画は、2020-21年に97億ドル、2022-23年に55億ドル、2023-24年に43億ドルと、赤字額が減少していくことを示しています。

- ・ 3年間の財務計画を通して新たな基礎予算投資額87億ドルは、パンデミック中の人々の安全と健康を守り、すべての人を対象とした新たな経済回復の機会を生み出します。
- ・ 財務計画には、続く健康と経済の不確実性があることを考慮し、大変慎重に行っています。それには以下のことが含まれています。
 - 継続するパンデミック関連の健康および経済回復ニーズに取り組むための短期的な取り組みのため、パンデミックと回復のための緊急時対応策 (Pandemic and Recovery Contingencies)として2021 - 22年に32.5億ドル、2022 - 23年に10億ドル、2023-24年に3億ドルを計上。
 - 予期せぬ事態に対応するため、一般プログラムの不確実性プログラム (General Programs Contingencies) として、2021 - 22年に10億ドル、2022 - 23年に8億ドル、2023-24年に7億ドルを計上。
 - 歳入の変化などの変動性に備えるために、2021-22年には10億ドル、2022-23年には7億5000万ドル、2023-24年に4億ドルの年間予測補助金を計上。
 - 将来的に予算計上を要すると思われる取扱件数の圧力と優先順位の高い取り組みのため、2022-23年に15億ドル、2023-24年に20億ドルの想定割当額を計上。
 - BC州の実質GDP成長率の見通しは、経済予測評議会による見通しよりも低く、2021年と2022年の各年で0.5ポイント低下、2023年と2024年の各年で0.2ポイント低下。

COVID-19による支出

- ・ 2021年度予算は、87億ドルの増加を行い、パンデミックおよび回復のための緊急対策費プログラムとして46億ドルを計上し、健康と安全、人々と企業への支援、BC州の長期的な経済回復への準備に重点を置きます。
- ・ 2021-22年パンデミックおよび回復のための緊急対策費プログラムの32億5千万ドルは、以下のようなプログラムとサービスを支援します。
 - COVID-19関連の健康管理のために9億ドルを計上。
 - 人々と企業を支援するために10億5000万ドルを計上。
 - 経済回復準備のために2億ドル。
 - 予期せぬ緊急の健康および回復対策支援のための予備費11億ドルを計上。
- ・ 2020-21年、州はCOVID-19の救済と回復対策に100億ドル以上を投資しました。これには以下が含まれます。
 - 重要なサービスを支援し、財政支援を行い、経済回復を支援するために、パンデミック対応および経済回復の緊急時対応策プログラムのに67億ドルを計上。
 - 交通機関と自治体を対象とした連邦および州が費用を分担する再開 (Restart) の取り組みに対する州の拠出金として8億1000万ドルを計上。
 - 税額控除や減税など、その他の対応や一時的な救済措置に30億ドルを計上。

資本支出

- ・ 税制優遇基金支出の合計は、会計年度全体で264億ドルになると予測されています。資本計画は、人々がすぐに仕事に戻ることができるように既存のプロジェクトへの投資による回復を支援できるものであり、長期的な回復の基盤を構築するための投資も含まれています。
- ・ 2021年度予算で予測される今後3年間支出は、2020年度予算で示された先3年間の計画よりも35億ドル多く、会計計画期間中に8万5000人を超える雇用を創出することが期待されています。

負債状況

- ・ ブリティッシュコロンビア州民に必要な支援を継続し、BC州の力強い経済回復に必要な投資を行うため、負債は大幅に増加することが予測されます。
- ・ BC州の税制優遇基金は、それぞれ会計年度末時点で、2021-22年は716億ドル、2022-23年は828億ドル、2023-24年は927億ドルになると予測されています。
- ・ 信用格付機関が使用する主要な指標である税制優遇基金とGDPの比率は、財政計画全体を通じて30%以下を維持し、2023-24年までに26.9%に達すると予想されています。
- ・ 借入金的大幅な増加と債務残高が増加しているにもかかわらず、BC州の良好な信用格付のために、一部では低金利の恩恵を受けています。
- ・ その結果、州の債務は程よく維持されており、政府はパンデミック中に人々と企業を支援し、力強い回復を促進するために即、投資することができます。

均衡予算と財政の持続可能性への道は、政府が必要とする人々にサービスを提供し続け、すべての人にとってより強く、より公平な未来を築けるようにするための優先事項です。パンデミックの継続的な影響による前例のないレベルの不確実性があるため、バランスのための具体的なタイムラインを正確に予測するには時期尚早ですが、予備的な分析では、7～9年以内に均衡予算に戻ることが示されています。具体的なタイムライン、アプローチ、計画は、景気回復の道筋とペースがより確実になる2022年度の予算に示される予定です。

連絡先:

財務省

広報窓口

250 387-5710

BC州とつながろう: news.gov.bc.ca/connect